



武蔵村山RC
第46代クラブ会長
波多野 晃夫



Weekly Report

第2226回例会 2018年6月20日 国際ロータリー第2580地区

2017~18年度RI会長 イアン H. S. ライズリー 2580地区ガバナー 青田 雅俊

東京武蔵村山RC テーマ

「共に学び、そして実践しよう」

本日の例会

最終例会
フォレストイン昭和館
「車屋」

2017~18年度RIテーマ



ロータリー:
変化をもたらす

次回の例会

全員クラブ協議会

【第2225回例会週報】2018年6月13日(水)

司会 小澤 秀人 SAA会場運営副委員長

点鐘 波多野 晃夫 会長

奉仕の理想
ソングリーダー
原田 友義 会員



幹事報告 新海 正人 幹事

○報告はありませんでした。



出席報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
35名	25名	76.47%	なし

- 事前メーキャップ
比留間 孝司 会員 (地区米山)
- 出席免除会員
宮崎 恒夫 会員

委員会報告

○親睦委員会 酒寄 好夫 副委員長

- ・6/20最終例会のご案内
18:00点鐘、場所は車屋
- *送迎バスの用意はありません



○ゴルフ部 田中 伸彦 会員

- ・3RCと当クラブのWコンペのご案内
飯能グリーンカントリークラブにて開催
プレー終了後、現地で3RCの表彰式
を行い武蔵村山の戻り「入清」にて当クラブコンペの表彰式を行います。



会務報告 波多野 晃夫 会長

- 日本のロータリー100周年記念
ピンバッジデザイン応募締切延長の件
・2018年7月31日(火)
・応募詳細は添付
「ロータリーの友」2018年3月号39頁
- 2019-20年度地区補助金プロジェクト申請書
をグーグルドライブに保存しています。
申請期限は2018年9月30日(日)
- RI2580地区ウェブサイト
に映画「プレスしあわせの呼吸」の予告編を埋め込みました。
you tubeのサイトで見ると地区のクラブのウェブサイトという通常閲覧の方がみやすい
と思われる。
予告編URLは<https://youtu.be/nBP3i6-TCHO>



ニコニコBOX (佐藤 貢 親睦委員長)

宮崎茂夫会員 長男に二人目の孫が生まれました。
男に続いて男です。アパートの自宅で生まれてしまいました。
名前は、まだありません。
第一子は、コウキです。齊藤さんと一緒です。
次もこの中から選びたいと思います。

今回計5,000円 累計 1,163,000円

「1年を振り返って」 波多野 晃夫 会長・新海 正人 幹事

波多野 晃夫 会長

今年度のクラブテーマは「共に学びそして実践しよう」というフレーズを掲げ、昨年6月以降定例の理事会を12回、移動例会を含め例会を46回開催し、予定していた事務事業は、皆様のお力添えにて概ねクリアできたのではないかと考えております。私たち執行部が船出をする前に3つの大きな問題に直面していました。

1つは例会場の確保でした。これまでお借りしていた西武信金さんの会場を移動しなければならなくなりました。8月以降の例会継続に危機感を感じましたが、田代会員の協力により、例会場・事務室をお借りすることができ、無事に本日まで例会を開催することができました。また、引越の際には炎暑の中皆様にご協力いただきありがとうございました。

2つ目は交換留学生セルヒオ君のホストファミリーの件でした。一番目のホストファミリーは田代会員に快く引き受けて頂きましたが、それ以降のホストファミリーが中々決まらず幹事と共に頭を悩ました。

生身の人間を預ることは、想定しないことが起きたり、家庭内でトラブルの元にならないか等と非常に危惧していましたが、良い経験になりました。

また、受入れに際し、財源的なクラブの負担が大きいと、皆さまには分担金の協力をいただきありがとうございました。

3つ目は定款とクラブ細則の整備についてです。定款については7月まで何とか整備できましたが、細則については前回例会でもお話したとおり、私たちの年度での整備はかないませんでした。引き続き新会長の下で整備を進めて頂ければ幸いです。

出席率の件ですが、各月の平均は毎月80%台を維持していたようですが、最近は極端に出席率の低い会員の方が散見されます。元々会員同士がフェイスTOフェイスで親睦を図ることが基本スタンスだと思います。クラブ定款では年度半期で50%以上の出席が必要であることや、4回以上連続欠席の場合は身分を喪失する可能性があることとされていることをご理解いただき、メーカーキャブを啓発するなど出席率を高める必要があると感じています。

会員増強については2名の新会員をお迎えすることができましたが、残念ながら志々田会員の退会があり、実質1名増員となりました。

例会のプログラムは「共に学ぶ」ということで、研修というイメージを最大限に前面に出したつもりです。今年度のプログラムでは研修リーダーの田中さんより2回の卓話の中でロータリーの基本的な知識をお話いただきました。その中で、最近の若い会員はロータリーの知識が低いとの話があったことを覚えています。それは本人の問題ではなく、研修等が組織的の実施できていなかったことも原因ですので、今度とも引き続き研修を行うことが大切であると考えています。役員・理事の方、会員全員の皆様のお力添えにより何とか滞りなく対処できました。いろいろとお世話になったことを感謝し1年のまとめとさせていただきます。ありがとうございました。

新海 正人 幹事

非常にまじめな性格の波多野会長と直感的な動きをする私との会長・幹事のコンビで丁度バランスが取れていたのではないかと考えています。これまで様々な会で役を経験してきましたが、こんなにやること多い会は初めての経験でした。

クラブの予算編成・組織編成・事業計画書の編集など分からないことが多く、会長に教えて頂きながら進めてきました。

4~7月は青少年交換留学生の件や、例会場移転の件で手一杯の状態でした。

特に今の時期はやることが多く大変でしたので、今後のできる限り後任者の支援を行って行きたいと思っています。

8月は事業計画書がまだ未完成でしたので、皆さんに怒られながらも何とか完成しました。また、炎天下の中での例会場の引越しがとても大変でした。

この会場の3階にコピー機を上げた時は、本当に体力的な限界を感じた記憶があります。

9月以降もガバナー公式訪問、デエダラまつり、分区連絡会、IMの発表、半期の収支報告。

年が変わって地区大会、TRC等が続き何とか役を果たして来れましたが、会の運営の大変さを改めて感じた1年でもありました。

最後になりますが、初めてのことが多く、分からない中で進めて来たことも多くありましたが、過去の資料があったりなかったりでしたので、これから役を引き受ける方が円滑に職務を進められるよう、今年作成した資料は事務局にお預けし、今後の参考にして欲しいと思っています。皆様のご協力、励まし、時にお叱りを頂きながら何とか無事に1年間役を終えることができましたことに関しましてお礼を申し上げます。1年間本当にありがとうございました。

